

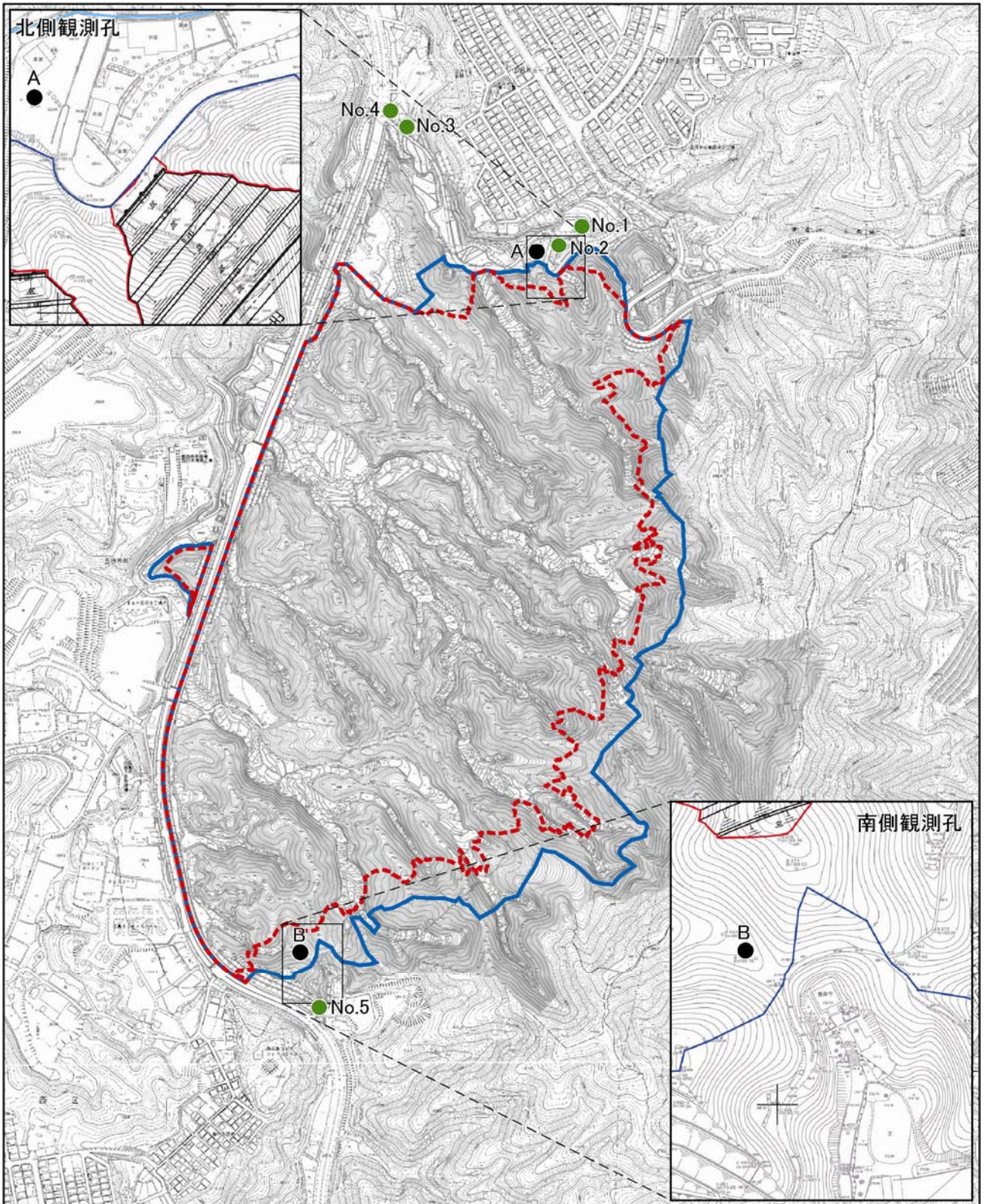
2) 地下水の環境基準

地下水の環境基準項目の調査結果は、表6に示すとおりである。

表6 地下水の環境基準項目調査結果

項目	単位	基準値	定量下限値	1	2	3	4	5
				施工前結果	施工前結果	施工前結果	施工前結果	施工前結果
				H24.5.28	H24.5.28	H24.5.30	H24.5.29	H24.5.28
カドミウム	mg/l	0.003mg/l以下	0.0003	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
全シアン	mg/l	検出されないこと。	0.1	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
鉛	mg/l	0.01mg/l以下	0.001	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
六価クロム	mg/l	0.05mg/l以下	0.005	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
砒素	mg/l	0.01mg/l以下	0.001	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
総水銀	mg/l	0.0005mg/l以下	0.00005	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
アルキル水銀	mg/l	検出されないこと。	0.0005	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
ポリ塩化ビフェニル[PCB]	mg/l	検出されないこと。	0.0005	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
ジクロロメタン	mg/l	0.02mg/l以下	0.002	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
四塩化炭素	mg/l	0.002mg/l以下	0.0002	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
塩化ビニルモノマー	mg/l	0.002mg/l以下	0.0002	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
1,2-ジクロロエタン	mg/l	0.004mg/l以下	0.0004	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
1,1-ジクロロエチレン	mg/l	0.1mg/l以下	0.002	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
1,2-ジクロロエチレン	mg/l	0.04mg/l以下	0.004	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
1,1,1-トリクロロエタン	mg/l	1mg/l以下	0.0005	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
1,1,2-トリクロロエタン	mg/l	0.006mg/l以下	0.0006	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
トリクロロエチレン	mg/l	0.03mg/l以下	0.002	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
テトラクロロエチレン	mg/l	0.01mg/l以下	0.0005	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
1,3-ジクロロプロペン	mg/l	0.002mg/l以下	0.0002	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
チウラム	mg/l	0.006mg/l以下	0.0006	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
シマジン	mg/l	0.003mg/l以下	0.0003	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
チオベンカルブ	mg/l	0.02mg/l以下	0.002	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
ベンゼン	mg/l	0.01mg/l以下	0.001	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
セレン	mg/l	0.01mg/l以下	0.001	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
ふっ素	mg/l	0.8mg/l以下	0.08	0.16	0.12	定量下限値未滿	0.11	定量下限値未滿
ほう素	mg/l	1mg/l以下	0.02	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	0.02	定量下限値未滿
1,4-ジオキサン	mg/l	0.05mg/l以下	0.005	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿	定量下限値未滿
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/l	10mg/l以下	0.01	10	0.58	1.9	2.2	0.20

地下水の環境基準項目の調査結果は、工事着手前（5月）においては5地点全てにおいて環境基準以下であった。工事完了後に調査を行い、比較して影響の程度を把握するものとする。



凡 例

- 事業計画地
- - - 開発行為申請予定地域
(改变区域)

- 井戸の位置
- 地下水位観測孔

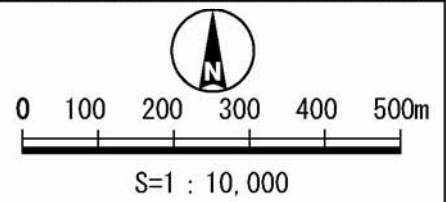


図 4 地下水調査位置

4. 貴重植物種

貴重植物種の生育（活着）状況調査結果は、表7に示すとおりである。

表7 生育（活着）状況調査結果

移植対象種	移植地	移植個体数 (平成24年3月27日、 5月7日～9日、 5月14日、16日)	確認個体数 移植4ヶ月後、6ヶ月後 (平成24年10月3日～4日)
タカサゴキジノオ	タカサゴキジノオ	3株	3株
タニヘゴ	タニヘゴ	1株	1株
オニヒカゲワラビ	オニヒカゲワラビ	1株	1株
ヘラシダ	ヘラシダ-1、-2	2箇所（各1株）	2箇所（各1株）
ハンゲショウ	ハンゲショウ(1)	700株	143株
	ハンゲショウ(2)	850株	298株
	ハンゲショウ(3)	950株	133株
	ハンゲショウ(4)	800株	388株
センリョウ	センリョウ	1株	1株
タマミズキ	タマミズキ	1箇所（予定）	—注)1
セトウチウンゼンツツジ	セトウチウンゼンツツジ	21株	8株
クロバイ	クロバイ	1株	1株
ササユリ	—	—注)2	—
チュウゴクザサ	チュウゴクザサ(1)	25株	20株
	チュウゴクザサ(2)	25株	15株
コ克蘭	コ克蘭	7株	7株
キヨスミイトゴケ	キヨスミイトゴケ	1箇所 着生木2株 (ヤブツバキとヒサカキに 両種が着生している。)	1箇所 着生木2株 (ヤブツバキとヒサカキに 両種が着生している。)
カビゴケ	カビゴケ		
オオミズゴケ	オオミズゴケ(1)、(2)	2箇所（各1㎡）	2箇所（各1㎡）

- 注) 1. タマミズキは、挿し木苗が養生中に枯死したため、本移植は実施できなかった。
 2. ササユリは、移植対象株が消息不明のため、移植は実施できなかった。
 3. 広島市植物公園に以下の植物種を持ち込みした（持込日：平成24年5月16日）。
 ・ヘラシダ2株、ハンゲショウ20株、クモラン19株、カヤラン2株。
 キヨスミイトゴケとカビゴケが着生した樹木4株。

ハンゲショウ、セトウチウンゼンツツジ、チュウゴクザサについては、株数が減少していたが、そのほかの種は変化が見られなかった。

ハンゲショウは、移植地に繁茂した一年生草本等（ボントクタデ、コセンダングサ）に被圧されたこと、生育環境の変化や移植に伴う負荷（地下茎の切断、損傷等）に抑制された可能性が考えられる。

セトウチウンゼンツツジは、移植後の活着が難しいとされているが、確認された8株は新葉が展開しており、生育状況はやや良好と考えられる。他の13株は枯死した可能性が高いと考えられ、移植に伴う負荷（枝葉や根の切り落とし、生育環境の変化）によるものと考えられる。なお、一部の個体で着生していたキヨスミイトゴケの生育が確認された。

チュウゴクザサは、移植後の活着が難しいとされているが、確認された個体の生育状況はやや良好であると考えられる。

今後も、貴重植物種の生育状況を把握するための調査を実施し、著しい影響が確認された場合は、専門家の意見を聞きながら、生育環境の整備や、再度、移植適地を調査し、再移植を行うなどの適切な措置を講じることとする。

5. 廃棄物

工事は7月から着手されており、工事中の廃棄物発生量は表8に、その再利用状況は表9に示すとおりである。

表8 廃棄物発生量（建設副産物排出量）調査結果（H24.7～H24.10末）

		アスファルトガラ (t)	コンクリートガラ (m ³)	枝葉・草 伐採材 (m ³)	根株 伐根材 (m ³)	廃プラスチック (m ³)	紙くず (m ³)	金属くず (m ³)
平成 24年	7月	9.0	64.0	1096.0	28.0			
	8月	27.0	24.0	10,897.1				
	9月	63.0	656.0	20,549.3	715.9	21.0		
	10月	153.0	300.0	20,143.1	1,176.0	47.5	4.0	0.5
	計	252.0	1,044.0	52,685.5	1,919.9	68.5	4.0	0.5

表9 廃棄物発生量（建設副産物排出量）の再利用状況

廃棄物の種類	単位	発生量	処分委託量	再利用	減量	最終処分	最終処分t換算	処分委託量t換算	再利用方法
アスファルトガラ	t	252.00	252.00					252.00	再生アスコン・再生路盤材
コンクリートガラ	m ³	1,044.00	1,044.00					1,879.20	再生砕石
枝葉・草 伐採材	m ³	52,685.49	52,685.49					7,903.02	燃料(発電所燃料)等
根株 抜根材	m ³	1,919.86	1,919.86					575.96	燃料(工場燃料)等
廃プラスチック	m ³	68.50	68.50	13.7	20.55	34.25	3.43	6.85	セメント原料10%・固形燃料10%
				20%	30%	50%			
木屑	m ³	0.00	0.00						
紙屑	m ³	4.0	4.00	3.6	0.4			0.4	再生(製紙会社)
金属屑	m ³	0.5	0.5	0.5				0.15	鉄原料

工事中の建設副産物については、処理業者に委託し、廃棄物の種類ごとにできるだけ再利用を図っている。アスファルトガラは再生アスコン・再生路盤材に、コンクリートガラは再生砕石に、伐採材・伐根材はチップにして燃料等に再利用されている。

今後も、廃棄物の発生量・処分量・再利用の状況を把握するための調査を実施し、適切に処理されているかの確認を行う。